

平成14年度 卒業論文・修士論文合同公開発表会

大学の最先端の化学をすべての人に公開します。



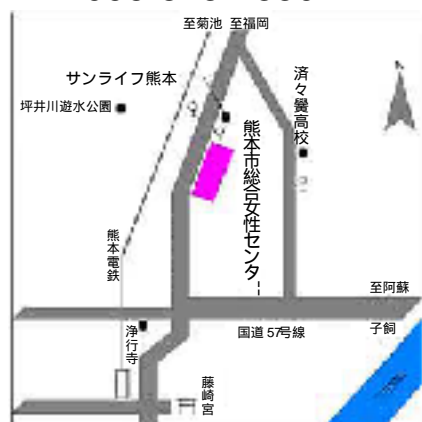
平成13年度合同発表会の発表風景

主催：
熊本大学工学部物質生命化学科
熊本大学自然科学研究科
物質科学専攻（工学化学系）

参加費：無料

期日：
平成15年2月22日（土曜日）
午前9時～午後5時

場所：
熊本市総合女性センター
熊本市黒髪3丁目3-10
TEL 096-345-2550



交通機関
電鉄バスをご利用ください。
交通センターからは、16～18番乗り場
国道経由（北1、2、3、7、8）
乗車から「総合女性センター前」下車
三軒町経由（北4、5、6、9）
乗車から「済々黌前」下車

昨年度から、熊本大学工学部物質生命化学科では、高等学校や企業、地域社会に対して、卒業論文・修士論文の発表会を公開しています。このような形で研究成果を発表することで、以下のような効果を期待しています。

1. 研究シーズの開発

大学での研究内容を企業に公開することによって、大学と企業との間での共同研究や企業化のきっかけとなることを期待しています。なお、すでに企業と共同研究を行っているテーマについては非公開として取り扱い、外部に漏れないように対処します。

2. 若者の科学技術への関心の増加

高校生に対して、大学での研究活動を、より身近な学生の発表として示すことで、若者の科学技術に対する興味を育てて、科学技術に携わる意欲の増加を期待します。

3. 企業に対する人材のアピール

企業に対して学生の発表を公開することで、本学科の学生のアクティビティをアピールし、企業人と学生の間で直接に討論することで、お互いに面識を得る機会を与えることが期待されます。

4. 地域社会との提携

閉鎖的といわれている大学の研究を、学生の発表会という形で地域社会に公開することで、大学の現状を一般の方に知っていただき、また、発表する学生の父母に大学教育の成果を理解していただくことを期待します。

5. 学生のアカウンタビリティに対する自覚の育成

現在、社会に研究成果を公開しなければならないという、アカウンタビリティという考え方が広がりつつあります。学生に、専門家でない一般の人に説明する機会を与えることにより、社会の中での研究の位置づけについて自覚させる重要な場となることが期待されます。

高校生、社会人、父母、ほか、大学の教育・研究活動に興味のあるすべての方の来聴を歓迎します。

問い合わせ先

〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1

熊本大学工学部物質生命化学科

合同発表会事務局：後藤元信・澤田 剛

E-mail:sawada@kumamoto-u.ac.jp

URL:<http://www.chem.kumamoto-u.ac.jp/index-J.html>